

CV-22オスプレイの飛来に抗議する意見書

令和2年11月16日午後1時半及び午後3時45分頃、米軍横田基地配備のCV-22オスプレイ計3機が嘉手納基地に飛来した。同型機の嘉手納基地への飛来は、今年3月以来6度目となる。沖縄防衛局からの飛来に関する照会に対し、米軍は「CV-22オスプレイは、今週行われる沖縄沖の公海上での捜索・救難訓練に参加する」と回答している。

町民からは、嘉手納基地を拠点に訓練を実施することによる基地被害の増大を懸念する声があがっており、同型機が飛来した翌日の早朝から戦闘機等の離発着及び飛行訓練が相次ぎ騒音が激化し、騒音被害に関する苦情が多く寄せられた。さらには航空機の墜落など安全性を不安視する声も高まっており、町民の怒りは頂点に達しつつある。

本町議会は、CV-22オスプレイが飛来する度に断固反対の意思を表明し、平成25年1月から計7回にわたり同型機の嘉手納基地配備反対及び県内訓練場使用に断固反対する決議を全会一致で可決している。また、平成25年4月には「CV-22オスプレイの嘉手納飛行場配備に反対する三連協住民大会」を開催してきた経緯を踏まえ、嘉手納基地の訓練拠点化につながる一切の動きを看過することはできない。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、CV-22オスプレイの飛来に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 嘉手納基地へのCV-22オスプレイの飛来を中止すること。
- 2 CV-22オスプレイの県内訓練場使用計画を撤回すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年11月26日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官（沖縄基地負担軽減担当）
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使（沖縄担当） 沖縄防衛局長
沖縄県知事

CV-22オスプレイの飛来に抗議する決議

令和2年11月16日午後1時半及び午後3時45分頃、米軍横田基地配備のCV-22オスプレイ計3機が嘉手納基地に飛来した。同型機の嘉手納基地への飛来は、今年3月以来6度目となる。沖縄防衛局からの飛来に関する照会に対し、米軍は「CV-22オスプレイは、今週行われる沖縄沖の公海上での捜索・救難訓練に参加する」と回答している。

町民からは、嘉手納基地を拠点に訓練を実施することによる基地被害の増大を懸念する声があがっており、同型機が飛来した翌日の早朝から戦闘機等の離発着及び飛行訓練が相次ぎ騒音が激化し、騒音被害に関する苦情が多く寄せられた。さらには航空機の墜落など安全性を不安視する声も高まっており、町民の怒りは頂点に達しつつある。

本町議会は、CV-22オスプレイが飛来する度に断固反対の意思を表明し、平成25年1月から計7回にわたり同型機の嘉手納基地配備反対及び県内訓練場使用に断固反対する決議を全会一致で可決している。また、平成25年4月には「CV-22オスプレイの嘉手納飛行場配備に反対する三連協住民大会」を開催してきた経緯を踏まえ、嘉手納基地の訓練拠点化につながる一切の動きを看過することはできない。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、CV-22オスプレイの飛来に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 嘉手納基地へのCV-22オスプレイの飛来を中止すること。
- 2 CV-22オスプレイの県内訓練場使用計画を撤回すること。

以上、決議する。

令和2年11月26日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官 在沖米国総領事
嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長